

中国でのCDQ(コークス乾式消火設備)CDMプロジェクトの国連承認について

新日本製鉄が、中国河北省で進めているCDQ(コークス乾式消火設備;製鉄プロセスの代表的な省エネルギー技術)に基づくCDM(*)プロジェクトが、昨年10月の日中両国政府の承認を経て、4月6日に国連のCDM理事会で正式承認された。

本件は、中国首都鋼鉄の関連会社である遷安中化煤化工

有限責任公司(遷安コークス)にCDQを設置し、現在大気中に放散されているコークス製造工程の廃熱を利用して年間平均約25MWの発電を行うもので、2007年より年間約21万トンのCO₂排出削減効果が込まれる。

本件は、新日本製鉄グループが地球温暖化対策の一環として

進めてきたもので、CDQを用いたCDMプロジェクトとしては世界初、新日本製鉄としては、昨年3月の、中国でのフロン処理CDMプロジェクトに次ぐ、2件目の国連正式承認案件となる。

(*) CDM (Clean Development Mechanism; クリーン開発メカニズム)
発展途上国内で行われる温室効果ガス削減プロジェクトに対して、先進国が技術や資金の援助を行い、その結果生じた削減量に対してクレジット(証書)が発行され、先進国の削減としてカウントできる制度。

お問い合わせ先 環境部 TEL 03-3275-5145

北海鋼機(株)と中山三星建材(株) 苫小牧工場の棒線事業統合に向けた基本合意成立

北海鋼機(株)、新日本製鉄、中山三星建材(株)および(株)中山製鋼所は、北海鋼機の棒線事業と中山三星建材苫小牧工場の棒線事業統合に向けた基本合意に至った。

普通線材製品市場は、昨今の土木・建築需要の大幅な減少を

背景に縮小が続いており、両社は、この需要変化へ万全な対応を行うとともに、今後のさらなる発展のためには、事業基盤の一層の強化が不可欠であると判断し、北海鋼機の棒線事業と中山三星建材苫小牧工場の棒線事業の事業統合に向けて、具体的

な検討および準備に着手することとした。

<事業統合の方式(予定)>

本年6月1日に、北海鋼機の棒線事業を新設分割により新たに設立する新会社に承継させた後、同年8月1日を目処に、この新会社に中山三星建材苫小牧

工場の棒線事業を吸収分割により承継させる方式によって統合を行う予定。なお、統合比率は、第三者機関の評価を踏まえて、今後4社で協議していく。

お問い合わせ先
総務部広報センター
TEL 03-3275-5021

新日本製鉄による北海鋼機(株)の完全子会社化について

新日本製鉄と同社子会社である北海鋼機(株)は、建材薄板分野(めっき・カラー鋼板)における新日鉄グループ競争力強化の一環として、新日本製鉄による北海鋼機の完全子会社化につき基本合意に至った。

北海道地区における建材薄板分野の厳しい需給環境を踏ま

え、北海鋼機を新日本製鉄の完全子会社とすることで、新日鉄グループとしての迅速な経営判断の実行、両社の連携の深化による販売体制の整備や品質向上を図り、新日鉄グループにおける北海道地区の生産・販売拠点として、北海鋼機の抜本的な競争力強化を目指す。

<完全子会社化の方法>

本年6月1日を目処に、北海鋼機の棒線事業を新設分割により分社した後、同年7月1日を目処に、株式交換により新日本製鉄による北海鋼機の完全子会社化を実施。なお、新日本製鉄は株式交換に際し、同社株式を北海鋼機の株主に割当交付する

予定。株式交換比率については、第三者機関による適正な企業価値評価を参考に、両社協議のうえ、別途締結する株式交換契約において決定する予定。

お問い合わせ先
総務部広報センター
TEL 03-3275-5021,5022

日鉄東海鋼線(株) 岐阜新工場 第一期工事竣工

中京製線(株)と(株)チタックが経営統合し、昨年6月に発足した日鉄東海鋼線(株)は、岐阜県関市の関テクノハイランドに新工場建設を進めてきたが、このほど第一期工事が竣工し、営業生産

を開始した。引き続き第二期工事(愛知工場伸線機移設)に入る。

新工場への最新鋭設備と一貫生産管理システムの導入により、製鉄所との連携による素材から製品までの一貫品質管理

体制がさらに強化され、きめ細かなサービスでお客様の高度なニーズに応じていくと同時に、高品質で競争力ある冷間圧造用鋼線、鉄線などの安定供給を目指していく。



<岐阜新工場の概要>

1. 所在地: 岐阜県関市(関テクノハイランド内)
2. 生産能力: 17,000トン/月(第二期工事完了後)
3. 生産品目: 冷間圧造用鋼線(炭素鋼・合金鋼)、硬鋼線、高炭素クロム軸受鋼線、普通鉄線、各種鉄線

<日鉄東海鋼線の概要>

1. 本社所在地: 愛知県北名古屋市沖村権現 34
2. 出資会社: 新日本製鉄(株) 51%、伊藤忠丸紅鉄鋼(株) 34.4%、宮崎精鋼(株) 7.6%、三井物産(株) 3%、(株)青山製作所 2%、豊田通商(株) 2%
3. 生産拠点: 愛知工場、岐阜工場、静岡工場

お問い合わせ先
総務部広報センター
TEL 03-3275-5021

君津製鉄所 2006年度粗鋼生産量 1,000万トン超を達成

君津製鉄所は2005年度に続き、2006年度も粗鋼生産量1,000万トン超を達成した。2006年度は、製鋼第6連続鋳造設備、第5溶融亜鉛めっき設備などの各

種新規生産設備を立ち上げるなど、お客様の高度な需要に対応するための生産構造改革を進めてきた。また、トラブルなどによるロスを削減し、より効率的

な生産を達成するための操業改善を進め、製鋼、溶融亜鉛めっき鋼板、塗装鋼板、線材などの生産量、総出荷量などで年度記録を更新した。

お問い合わせ先
君津製鉄所
総務部総務グループ
TEL 0439-50-2013

三村社長が(財)新日鉄文化財団理事長に就任

本年4月、(財)新日鉄文化財団の理事長に新日本製鉄三村明夫社長が就任した。

新日鉄文化財団は、50年以上

続く新日本製鉄の音楽メセナ活動を継承し、紀尾井ホールを拠点に芸術活動を支援している。新日本製鉄にとって、紀尾井の

活動は事業活動と並行して、豊かな社会を作り上げていくための重要な社会貢献活動の柱であり、今後も世界一流レベルの活

動にしていきたいと考えている。

お問い合わせ先
新日鉄文化財団 TEL 03-5276-4500
URL <http://www.kioi-hall.or.jp>

(株)日鉄電磁テクノ 関東工場 コア加工開始

新日本製鉄の連結子会社で電磁鋼板の総合加工センターである(株)日鉄電磁テクノは、2月、関東工場内にモータコア加工工場を竣工し、4月から営業運転を開始した。

関東工場は、昨年2月に千葉

県浦安市から船橋市の「船橋ハイテクパーク」に移転しており、移転先工場敷地内にコア加工設備を設置し、一貫製造体制を整え、市場拡大が期待されるハイブリッド自動車・電機分野向けコア加工需要の要請に対応して

いく。

関東工場の竣工により、新日本製鉄としては国内全域(八幡、広畑、名古屋、船橋)で電磁鋼板のスリットからコアまでの一貫加工体制を確立したことになる。



お問い合わせ先
電磁鋼板営業部電磁鋼板国内グループ
TEL 03-3275-7235

新日鉄ホームページ 薄板商品紹介ページを更新

新日本製鉄は、ホームページの薄板商品紹介ページを更新した。

商品ラインナップをわかりやすく紹介するとともに、薄板商品の環境対応情報を提供するなど、よりお客様が使いやすいホームページを目指してコンテンツを充実させている。

URL <http://www.hq.nsc.co.jp/usuita/products.html>



お問い合わせ先
薄板営業部 TEL 03-3275-7432

『新日鉄技報』最新号発行のお知らせ

このたび『新日鉄技報』最新号(第386号)が発行された。テーマは「棒線特集」。新日本製鉄のホームページトップページ「創造と挑戦」(技術開発)より「新日鉄技報 最新号」をクリックするとダウンロードできる。



お問い合わせ先
技術開発企画部
E-mail: gijhou@re.nsc.co.jp

新日鉄化学(株) ホームページを刷新

新日鉄化学(株)は、4月1日の組織改正にあわせてホームページを刷新した。

お客様の「欲しい情報の探しやすさ・見やすさ」に重点を置き、企業情報・製品情報・事業紹介の内容は、トップページから“ワンクリック”で閲覧できる構成となっている。

URL <http://www.nsc.co.jp>



お問い合わせ先
新日鉄化学(株) 人事・総務部
TEL 03-5207-7600

(株)新日鉄都市開発 ホームページを刷新

(株)新日鉄都市開発は、ホームページを刷新した。

従来1つだったサイトを、来訪者の目的にあわせて、BtoB、リクルーティングをターゲットとした企業情報サイト【nscp-net.com】と、分譲物件購入予定者を対象とした物件情報サイト【e-livio.com】に分割した。

URL 企業情報サイト
<http://www.nscp-net.com>
分譲物件情報サイト
<http://www.e-livio.com>



お問い合わせ先
(株)新日鉄都市開発 総務部
TEL 03-3276-8800

紀尾井ホール (財)新日鉄文化財団

5月主催・共催公演から <http://www.kioi-hall.or.jp>

- 16日 常磐津英寿をきく会【邦楽】
出演：常磐津英寿(三味線)、常磐津一巴大夫(浄瑠璃)、花柳寿南海(舞踊)、竹内道敬(対談)ほか
曲目：「祝言式三番叟」、「手紙」、「吾輩は猫である」
- 18、19日 紀尾井シンフォニエッタ東京 第59回定期演奏会
出演：ヨーン・ストルゴード(指揮)、アナ・チュマチェンコ(Vn)、紀尾井シンフォニエッタ東京(Orch)
曲目：シューマン「序曲、スケルツォと終曲」、メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲ホ短調 op.64」、シベリウス「交響曲第3番ハ長調 op.52」
- 20、21日 NTTファイナンス presents ヴィオラスペース 2007 vol.16
若手演奏家のための公開マスタークラス
講師：今井信子、岡田伸夫、川崎雅夫、川本嘉子、菅沼準二、店村眞積、ガース・ノックス、ガボール・タカーチ=ナジ(特別講師)

- 23、24日 NTTファイナンス presents ヴィオラスペース 2007 vol.16
出演：今井信子、川崎雅夫、川本嘉子、店村眞積(Va)、櫻本大進(Vn)、ガボール・タカーチ=ナジ(Cond.)ほか
曲目：(23日)ルクレール「2つのヴィオラのためのソナタ第5番ハ短調」、バルトーク「弦楽四重奏曲第6番」ほか
(24日)JSバッハ「無伴奏チェロ組曲第2番ニ短調 BWV1008」、林光：ヴィオラ協奏曲〈悲歌〉ほか
- 30日 住大夫三夜 ～第二夜～【邦楽】
出演：竹本住大夫(浄瑠璃)、野澤錦糸(三味線)、山川静夫(対談)
曲目：双蝶々曲輪日記「引窓の段」

お問い合わせ・チケットのお申し込み先：
紀尾井ホールチケットセンター TEL 03-3237-0061 (受付10時～18時 日・祝休)